

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月4日

上場会社名 国際石油開発帝石株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1605 URL http://www.inpex.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北村 俊昭
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRユニット (氏名) 細野 宗宏 (TEL) 03-5572-0233
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	198,136	△18.9	70,773	△25.9	60,761	△39.8	7,864	△67.2
28年3月期第1四半期	244,292	△28.4	95,460	△46.7	100,973	△48.0	23,966	△54.3

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △113,016百万円(-%) 28年3月期第1四半期 △7,696百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	5.39	—
28年3月期第1四半期	16.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	4,152,514	3,061,412	67.5
28年3月期	4,369,841	3,178,803	67.1

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期2,803,262百万円 28年3月期2,932,892百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。甲種類株式(非上場)の配当の状況については、別紙の「甲種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	395,000	△30.3	136,000	△44.9	128,000	△50.5	10,000	△78.0	6.85
通期	797,000	△21.1	257,000	△34.1	251,000	△33.0	17,000	1.3	11.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2.(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	1,462,323,600株	28年3月期	1,462,323,600株
29年3月期1Q	1,966,400株	28年3月期	1,966,400株
29年3月期1Q	1,460,357,200株	28年3月期1Q	1,460,357,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施されております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、石油・天然ガス価格、生産・販売計画、プロジェクト開発スケジュール、政府規制、財務・税制条件等の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料4ページを参照してください。

(甲種類株式の配当の状況)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	円 銭 —	円 銭 3,600.00	円 銭 —	円 銭 3,600.00	円 銭 7,200.00
29年3月期	—				
29年3月期(予想)		3,600.00	—	3,600.00	7,200.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13
(重要な後発事象)	14
4. 参考情報	15
(1) 生産、受注及び販売の状況	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は油価及びガス価が下落したことにより、売上高は、前年同期比461億円、18.9%減の1,981億円となりました。このうち原油売上高は前年同期比152億円、9.9%減の1,397億円、天然ガス売上高は前年同期比301億円、35.1%減の556億円となりました。当第1四半期連結累計期間の販売数量は、原油が前年同期比9,814千バレル、47.5%増の30,476千バレルとなりました。天然ガスは、前年同期比275百万立方フィート、0.3%減の81,184百万立方フィートとなりました。このうち、海外天然ガスは、前年同期比57百万立方フィート、0.1%減の66,626百万立方フィートとなり、国内天然ガスは、前年同期比6百万立方メートル、1.5%減の390百万立方メートル、立方フィート換算では14,559百万立方フィートとなっております。販売価格は、海外原油売上の平均価格が1バレル当たり41.76米ドルとなり、前年同期比20.06米ドル、32.4%の下落となりました。海外天然ガス売上の平均価格は千立方フィート当たり4.88米ドルとなり、前年同期比2.60米ドル、34.8%の下落となりました。また、国内天然ガスの平均価格は立方メートル当たり46円33銭となり、前年同期比11円30銭、19.6%の下落となっております。売上高の平均為替レートは1米ドル109円52銭となり、前年同期比11円54銭、9.5%の円高となりました。

売上高の減少額461億円を要因別に分析しますと、原油及び天然ガスの売上高に関し、販売数量の増加により736億円の増収、平均単価の下落により1,003億円の減収、売上の平均為替レートが円高となったことにより186億円の減収、その他の売上高が7億円の減収となりました。

一方、売上原価は、主に為替が円高に推移したことにより、前年同期比197億円、15.7%減の1,065億円、探鉱費は主にアジア・オセアニア地域での探鉱活動が増加したことにより、前年同期比3億円、28.8%増の13億円、販売費及び一般管理費は前年同期比19億円、9.2%減の195億円となりました。以上の結果、営業利益は前年同期比246億円、25.9%減の707億円となりました。

営業外収益は、為替差益が減少したこと等により、前年同期比138億円、60.9%減の88億円となりました。営業外費用は生産物回収勘定引当金繰入額が減少したものの、為替差損が増加したこと等により、前年同期比16億円、9.8%増の188億円となりました。この結果、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は前年同期比402億円、39.8%減の607億円となりました。

法人税、住民税及び事業税と法人税等調整額の合計額は前年同期比366億円、45.0%減の448億円となり、四半期純利益は前年同期比35億円、18.1%減の159億円となりました。非支配株主に帰属する四半期純利益は80億円となり、以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比161億円、67.2%減の78億円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①日本

油価・ガス価の下落により、売上高は前年同期比54億円、20.1%減の218億円となりましたが、探鉱費の減少等により、営業利益は前年同期比29億円増の36億円となりました。

②アジア・オセアニア

油価・ガス価の下落及び為替が円高に推移したことにより、売上高は前年同期比373億円、40.2%減の554億円となり、営業利益は前年同期比257億円、73.9%減の90億円となりました。

③ユーラシア(欧州・NIS諸国)

販売数量は増加したものの、油価の下落及び為替が円高に推移したことにより、売上高は前年同期比26億円、14.3%減の156億円となり、営業利益は前年同期比22億円、42.0%減の30億円となりました。

④中東・アフリカ

販売数量は増加したものの、油価の下落及び為替が円高に推移したことにより、売上高は前年同期比6億円、0.6%減の1,032億円となりましたが、売上原価の減少等により、営業利益は前年同期比10

億円、1.8%増の598億円となりました。

⑤米州

原油販売数量は増加したものの、油価・ガス価の下落及び為替が円高に推移したことにより、売上高は前年同期比84百万円、4.0%減の20億円となり、営業損失は前年同期比10億円、70.1%増の26億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は4兆1,525億円となり、前連結会計年度末の4兆3,698億円と比較して、2,173億円の減少となりました。流動資産は9,594億円で、現金及び預金の減少等により前連結会計年度末と比較して249億円の減少となりました。固定資産は3兆1,930億円で、投資その他の資産の減少等により前連結会計年度末と比較して1,924億円の減少となりました。

一方、負債は1兆911億円となり、前連結会計年度末の1兆1,910億円と比較して999億円の減少となりました。このうち流動負債は2,858億円で、前連結会計年度末比332億円の減少、固定負債は8,052億円で、前連結会計年度末比666億円の減少となりました。

純資産は3兆614億円となり、前連結会計年度末比1,173億円の減少となりました。このうち、株主資本は2兆5,316億円で、前連結会計年度末比52億円の減少となりました。その他の包括利益累計額は2,715億円で、前連結会計年度末比1,243億円の減少、非支配株主持分は2,581億円で、前連結会計年度末比122億円の増加となりました。

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、期首の538億円に当第1四半期中に増加した資金222億円を加えた760億円となりました。

当第1四半期連結累計期間における営業活動、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローの状況及びそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、前年同期比355億円増の450億円となりました。これは主に、油価及びガス価の下落により税金等調整前四半期純利益が減少したものの、法人税等の支払額や生産物回収勘定（非資本支出）が減少したことによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、前年同期比1,376億円減の21億円となりました。これは主に、権益取得による支出が剥落したことによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は154億円（前年同期は213億円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出の増加や、非支配株主からの払込みによる収入の減少があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想については、平成29年3月期第1四半期連結累計期間の実績などを加味した結果、平成28年5月12日に公表の数値から下記のとおり修正を行いました。

1. 第2四半期連結累計期間業績予想（平成28年4月1日～平成28年9月30日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
前回発表予想(A)	389,000	118,000	118,000	8,000
今回修正予想(B)	395,000	136,000	128,000	10,000
増減額(B-A)	6,000	18,000	10,000	2,000
増減率(%)	1.5	15.3	8.5	25.0

2. 通期連結累計期間業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表予想(A)	808,000	238,000	237,000	17,000
今回修正予想(B)	797,000	257,000	251,000	17,000
増減額(B-A)	△11,000	19,000	14,000	—
増減率(%)	△1.4	8.0	5.9	—

上記見通しは以下の前提により算出しております。

	前回発表予想	今回修正予想
原油価格 (ブレント)	通期平均 45.0ドル/バレル	第1四半期実績 47.0ドル/バレル
		第2四半期以降 45.0ドル/バレル
		通期平均 45.5ドル/バレル
為替 (対米ドル)	通期平均 110.0円/ドル	第1四半期実績 108.2円/ドル
		第2四半期以降 105.0円/ドル
		通期平均 105.8円/ドル

なお、当社販売の原油価格は油種毎に価格が異なり、ブレントに比べ価格差があります。価格差は油の品質等により異なり、また、市況等により価格差も一定ではありません。当社販売の原油価格は一部を除きブレントに比べ低い価格になっております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社の構築物(パイプライン)の耐用年数につきましては、法人税法に規定する方法と同一の基準によっておりましたが、富山ラインが当期稼働予定であることから、「中長期ビジョン」に掲げたガスサプライチェーン強化策の進捗状況や使用実績等を勘案し、経済的使用可能予測期間の検討を行った結果、従来の耐用年数よりも長期に使用可能であることが判明しましたので、当第1四半期連結会計期間よりこれらの耐用年数を見直しております。

この変更に伴い、従来の耐用年数によった場合に比べ、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,361百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	772,528	747,974
受取手形及び売掛金	56,462	62,827
たな卸資産	35,915	35,778
その他	132,515	125,058
貸倒引当金	△13,076	△12,205
流動資産合計	984,345	959,433
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	124,900	184,724
坑井(純額)	51,257	49,829
機械装置及び運搬具(純額)	130,796	135,582
土地	19,673	19,594
建設仮勘定	1,407,490	1,308,675
その他(純額)	18,495	18,744
有形固定資産合計	1,752,614	1,717,150
無形固定資産		
のれん	67,558	65,868
その他	473,912	456,185
無形固定資産合計	541,471	522,053
投資その他の資産		
投資有価証券	213,730	198,904
生産物回収勘定	727,771	721,558
その他	291,535	175,370
貸倒引当金	△7,814	△7,196
生産物回収勘定引当金	△131,765	△132,458
探鉱投資引当金	△2,046	△2,303
投資その他の資産合計	1,091,410	953,876
固定資産合計	3,385,496	3,193,080
資産合計	4,369,841	4,152,514

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,351	42,614
短期借入金	68,468	65,890
未払法人税等	42,845	28,465
探鉱事業引当金	4,781	5,103
役員賞与引当金	55	13
資産除去債務	2,233	1,035
その他	153,390	142,761
流動負債合計	319,127	285,883
固定負債		
長期借入金	673,098	617,806
事業損失引当金	4,737	4,369
特別修繕引当金	293	306
退職給付に係る負債	7,461	7,455
資産除去債務	100,829	99,821
その他	85,490	75,459
固定負債合計	871,911	805,218
負債合計	1,191,038	1,091,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	290,809	290,809
資本剰余金	676,273	676,273
利益剰余金	1,575,136	1,569,857
自己株式	△5,248	△5,248
株主資本合計	2,536,971	2,531,691
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,958	1,007
繰延ヘッジ損益	△6,660	△6,066
為替換算調整勘定	397,622	276,629
その他の包括利益累計額合計	395,921	271,570
非支配株主持分	245,910	258,149
純資産合計	3,178,803	3,061,412
負債純資産合計	4,369,841	4,152,514

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	244,292	198,136
売上原価	126,289	106,500
売上総利益	118,003	91,635
探鉱費	1,042	1,342
販売費及び一般管理費	21,500	19,520
営業利益	95,460	70,773
営業外収益		
受取利息	2,194	2,591
受取配当金	1,693	1,108
為替差益	8,256	—
固定資産売却益	8	1,909
その他	10,570	3,275
営業外収益合計	22,724	8,884
営業外費用		
支払利息	1,162	1,162
持分法による投資損失	1,007	221
生産物回収勘定引当金繰入額	13,203	687
探鉱事業引当金繰入額	568	34
為替差損	—	15,757
その他	1,268	1,033
営業外費用合計	17,210	18,896
経常利益	100,973	60,761
税金等調整前四半期純利益	100,973	60,761
法人税、住民税及び事業税	75,975	54,026
法人税等調整額	5,505	△9,224
法人税等合計	81,480	44,801
四半期純利益	19,493	15,959
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,473	8,095
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,966	7,864

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	19,493	15,959
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△123	△3,937
為替換算調整勘定	△34,495	△122,814
持分法適用会社に対する持分相当額	7,430	△2,223
その他の包括利益合計	△27,189	△128,976
四半期包括利益	△7,696	△113,016
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,598	△116,486
非支配株主に係る四半期包括利益	△21,294	3,469

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	100,973	60,761
減価償却費	14,100	22,172
のれん償却額	1,690	1,690
生産物回収勘定引当金の増減額(△は減少)	13,559	692
探鉱事業引当金の増減額(△は減少)	△965	396
その他の引当金の増減額(△は減少)	△19	△921
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	40	16
受取利息及び受取配当金	△3,888	△3,702
支払利息	1,162	1,162
為替差損益(△は益)	△3,820	16,560
持分法による投資損益(△は益)	1,007	221
固定資産売却損益(△は益)	△8	△1,909
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	14,985	21,158
生産物回収勘定(非資本支出)の増加額	△22,120	△2,919
売上債権の増減額(△は増加)	△14,919	△6,428
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,396	△1,239
仕入債務の増減額(△は減少)	3,968	△4,209
その他	△5,077	△360
小計	98,272	103,141
利息及び配当金の受取額	10,757	4,448
利息の支払額	△533	△106
法人税等の支払額	△98,995	△62,397
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,501	45,085
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△43,477	△163,352
定期預金の払戻による収入	247,928	260,877
長期預金の預入による支出	△32,710	—
有形固定資産の取得による支出	△115,675	△80,599
有形固定資産の売却による収入	16	2,996
無形固定資産の取得による支出	△5,553	△5,951
有価証券の売却及び償還による収入	49,961	—
投資有価証券の取得による支出	△6,400	△142
投資有価証券の売却及び償還による収入	9,934	—
生産物回収勘定(資本支出)の支出	△16,413	△12,813
短期貸付金の増減額(△は増加)	66	1,102
長期貸付けによる支出	△96,143	△2,304
長期貸付金の回収による収入	178	115
権益取得による支出	△132,278	—
その他	737	△2,077
投資活動によるキャッシュ・フロー	△139,829	△2,150

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	74	△3
長期借入れによる収入	—	50
長期借入金の返済による支出	△9,695	△13,570
非支配株主からの払込みによる収入	41,647	8,769
配当金の支払額	△10,653	△10,651
その他	△9	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	21,364	△15,414
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,260	△5,312
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△110,224	22,208
現金及び現金同等物の期首残高	260,978	53,813
現金及び現金同等物の四半期末残高	150,753	76,021

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	アジア・ オセアニア	ユーラシ ア(欧州・ NIS諸国)	中東・ アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	27,329	92,740	18,222	103,881	2,118	244,292	—	244,292
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	27,329	92,740	18,222	103,881	2,118	244,292	—	244,292
セグメント利益又は損失(△)	679	34,776	5,274	58,793	△1,534	97,988	△2,528	95,460

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,528百万円は、セグメント間取引消去51百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,580百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	アジア・ オセアニア	ユーラシ ア(欧州・ NIS諸国)	中東・ アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	21,848	55,424	15,615	103,213	2,034	198,136	—	198,136
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	21,848	55,424	15,615	103,213	2,034	198,136	—	198,136
セグメント利益又は損失(△)	3,668	9,075	3,058	59,843	△2,611	73,033	△2,260	70,773

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,260百万円は、セグメント間取引消去2百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,263百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

(耐用年数の変更)

「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」の「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、当社の構築物(パイプライン)の耐用年数につきましては、法人税法に規定する方法と同一の基準によっておりましたが、富山ラインが当期稼働予定であることから、「中長期ビジョン」に掲げたガスサプライチェーン強化策の進捗状況や使用実績等を勘案し、経済的使用可能予測期間の検討を行った結果、従来の耐用年数よりも長期に使用可能であることが判明しましたので、当第1四半期連結会計期間よりこれらの耐用年数を見直しております。

この変更に伴い、従来の耐用年数によった場合に比べ、当第1四半期連結累計期間の「日本」のセグメント利益は1,361百万円増加しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 参考情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

セグメントごとの生産実績は次のとおりであります。

セグメントの 名称	区分	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
日本	原油	0.2百万バレル (日量2.6千バレル)	0.3百万バレル (日量3.2千バレル)
	天然ガス	8.4十億CF (日量92.7百万CF)	11.4十億CF (日量125.0百万CF)
	小計	1.8百万BOE (日量20.0千BOE)	2.4百万BOE (日量26.7千BOE)
	ヨード	133.9t	141.3t
	発電	54.1百万kWh	55.5百万kWh
アジア・オセアニア	原油	4.4百万バレル (日量48.5千バレル)	3.6百万バレル (日量40.1千バレル)
	天然ガス	66.3十億CF (日量728.5百万CF)	63.6十億CF (日量699.3百万CF)
	小計	16.9百万BOE (日量185.4千BOE)	15.6百万BOE (日量172.0千BOE)
ユーラシア (欧州・NIS諸国)	原油	2.5百万バレル (日量27.9千バレル)	2.6百万バレル (日量29.0千バレル)
中東・アフリカ	原油	20.9百万バレル (日量229.8千バレル)	24.0百万バレル (日量264.0千バレル)
米州	原油	0.7百万バレル (日量7.2千バレル)	0.7百万バレル (日量7.1千バレル)
	天然ガス	8.4十億CF (日量92.1百万CF)	10.1十億CF (日量110.8百万CF)
	小計	2.1百万BOE (日量23.5千BOE)	2.5百万BOE (日量27.2千BOE)
合計	原油	28.8百万バレル (日量316.0千バレル)	31.3百万バレル (日量343.5千バレル)
	天然ガス	83.1十億CF (日量913.4百万CF)	85.1十億CF (日量935.0百万CF)
	小計	44.3百万BOE (日量486.7千BOE)	47.2百万BOE (日量518.9千BOE)
	ヨード	133.9t	141.3t
	発電	54.1百万kWh	55.5百万kWh

(注) 1 海外で生産されたLPGは原油に含みます。

2 原油及び天然ガス生産量の一部は、発電燃料として使用しております。

3 上記の生産量は持分法適用関連会社の持分を含みます。また、上記の生産量は連結子会社及び持分法適用関連会社の決算日にかかわらず、4月1日から6月30日の実績となっております。

4 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しております。なお、当社グループの権益比率ベースの生産量は、前第1四半期連結累計期間は原油34.3百万バレル(日量376.4千バレル)、天然ガス106.5十億CF(日量1,170.4百万CF)、合計54.2百万BOE(日量595.6千BOE)、当第1四半期連結累計期間は原油37.5百万バレル(日量411.8千バレル)、天然ガス105.2十億CF(日量1,156.6百万CF)、合計57.2百万BOE(日量629.0千BOE)となります。

5 BOE(Barrels of Oil Equivalent)原油換算量

6 ヨードは、他社への委託精製によるものであります。

7 数量は小数点第2位を四捨五入しております。

②受注実績

当社グループの販売実績のうち、受注高が占める割合は僅少であるため受注実績の記載は省略しております。

③販売実績

セグメントごとの販売実績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	区分	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	
		販売量	売上高	販売量	売上高
日本	原油	135千バレル	1,063	208千バレル	1,063
	天然ガス (LPGを除く)	14,776百万CF	22,818	14,559百万CF	18,073
	LPG	2千バレル	12	1千バレル	4
	その他		3,434		2,707
	小計		27,329		21,848
アジア・オセアニア	原油	4,068千バレル	31,002	3,902千バレル	18,475
	天然ガス (LPGを除く)	57,678百万CF	58,894	58,977百万CF	34,772
	LPG	541千バレル	2,842	620千バレル	2,177
	小計		92,740		55,424
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	原油	2,399千バレル	18,222	3,059千バレル	15,615
中東・アフリカ	原油	13,896千バレル	103,881	22,829千バレル	103,213
米州	原油	163千バレル	896	479千バレル	1,424
	天然ガス (LPGを除く)	9,005百万CF	1,222	7,649百万CF	609
	小計		2,118		2,034
合計	原油	20,661千バレル	155,066	30,476千バレル	139,792
	天然ガス (LPGを除く)	81,459百万CF	82,935	81,184百万CF	53,455
	LPG	542千バレル	2,855	621千バレル	2,182
	その他		3,434		2,707
	合計		244,292		198,136

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 決算日が12月31日の連結子会社につきまして、連結決算日で決算を行っている会社を除き、1月から3月の業績を第1四半期として連結しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っております。

3 販売量は、単位未満を四捨五入しております。